

当初予算 一般会計 を詳しく

一般会計

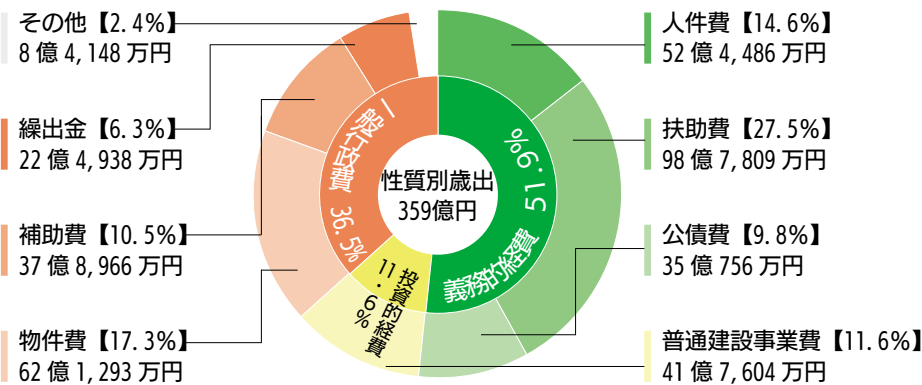
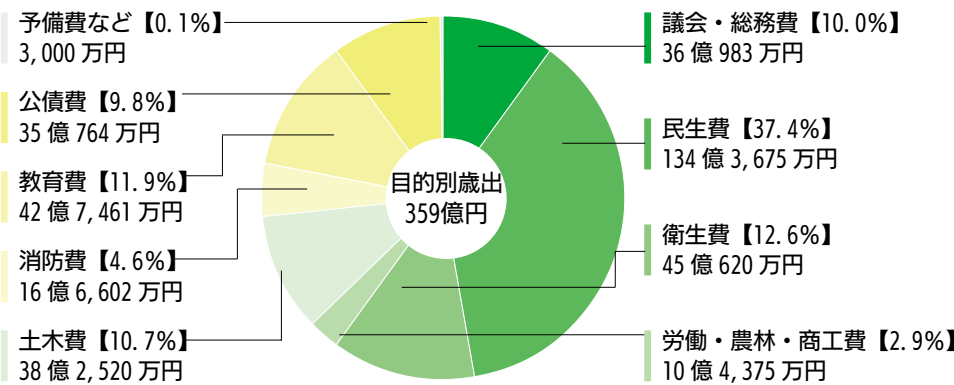
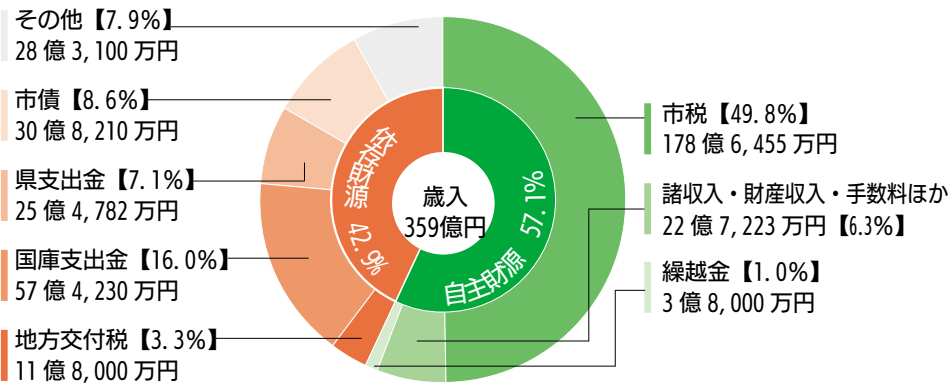
市が行う仕事の大部分を賄う予算で、市税や国・県からの支出金などを財源にするものです。市民の皆さんには最もかわりの深い予算です。

歳入について

根幹をなす市税において、個人市民税は人口減少により若干の減。まちづくりへの評価や新築家屋の活発な建設などから地価が上昇し、固定資産税が増。市税全体では1.4%の増収を見込みます。

歳出について

生活保護や障がい者への自立支援など扶助費が大幅増。物件費では、賃金のベースアップや委託業務の増加、加えて普通建設事業費では、施設の改修、建築助成のため大幅な増加を見込みます。



用語解説！

- 市税**…市民税・固定資産税など市独自の税金
- 繰越金**…前年度予算から繰り越したお金
- 地方交付税**…各市町村の財政状況に応じて、国から交付されるお金
- 国庫支出金・県支出金**…使い道を決めて国や県から交付されるお金
- 市債**…市が借り入れる借金
- 自主財源**…市税、市営住宅使用料など、市が収納、徴収できる財源
- 依存財源**…国庫支出金など、国や県から交付や割り当てられる財源
- 人件費**…市職員の給与など
- 扶助費**…高齢者・児童・障がい者などの支援にかかる経費
- 普通建設事業費**…道路や公共施設の新・改築などにかかる経費
- 物件費**…消費的性質をもつ経費（委託料、通信運搬費、光熱水費など）
- 補助費等**…市から団体などの補助のため払う経費や報償費、火災保険料など
- 繰越金**…一般会計、特別会計、基金の間で支出される経費
- 義務的経費**…支出が義務付けられていて自由に減らすことが困難な経費（人件費、扶助費、公債費など）
- 投資的経費**…支出効果が資本形成に向かい、将来に残るものに支出される経費
- 一般行政費**…義務的経費と投資的経費以外の経費

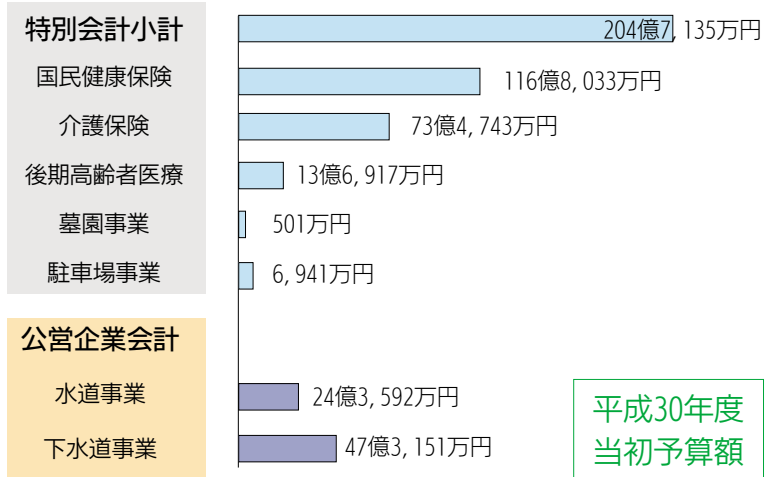
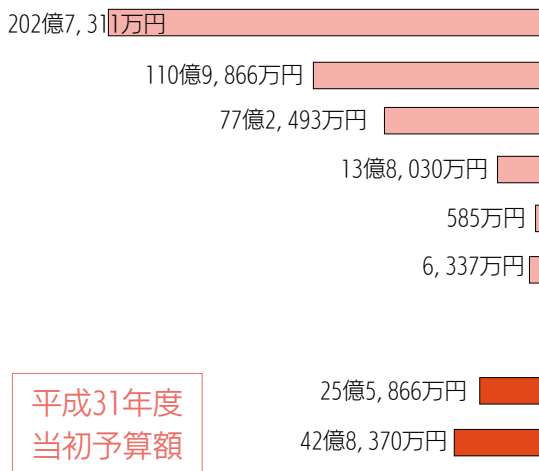
特別会計

経理を他の会計と区別する必要が
あるものが該当し、法律や条例に基
づいて設置します。三島市には7つ
の特別会計があります。
※水道事業会計と下水道事業会計は
企業会計方式を用い、独立採算性で
事業・経理を行っています。

当初予算

特別会計

を詳しく



目的別の金額内訳

衛生費 /40,900 円 <p>健康増進、環境衛生、ごみ処理など</p>	民生費 /121,958 円 <p>高齢者・障がい者福祉や子育て支援など</p>	総務費 /30,347 円 <p>税の賦課徴収、戸籍の維持管理など</p>	議会費 /2,418 円 <p>三島市議会の活動、運営など</p>
土木費 /34,719 円 <p>道路、公園の維持管理、都市基盤整備など</p>	商工費 /5,509 円 <p>商工業や観光の振興など</p>	農林費 /3,069 円 <p>農業の振興など</p>	労働費 /896 円 <p>就労支援や労働の振興など</p>
その他 /272 円 <p>災害復旧・予備費など</p>	公債費 /31,837 円 <p>借入金等の元金・利子の返済など</p>	教育費 /38,798 円 <p>幼稚園・小中学校の維持管理、社会教育など</p>	消防費 /15,122 円 <p>消防や救急など</p>

当初予算を市民1人あたりで考える

市民1人あたりに1年で使われるお金
325,845 円 (一般会計分)

市民1人あたりが1年で納めるお金
162,147 円 (税金)

税の種類	金額
市民税	74,574円
固定資産税	67,389円
都市計画税	12,144円
市たばこ税	5,744円
軽自動車税	2,296円

※平成31年度当初予算と平成31年2月28日現在の三島市の人口110,175人を基に計算しています。